

自閉症・情緒障がい特別支援学級(4学年) 国語科 学習構想案

1 単元構想

単元名	季節の言葉2 夏の楽しみ(光村図書 pp.100~101)		
単元の目標	(1) 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能(1)オ] (2) 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章(俳句)に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章(俳句)のよいところを見つけることができる。 [思考力,判断力,表現力 B(1)オ]		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 (1)オ	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章のよいところを見つけている。 (B(1)オ)	積極的に語彙を豊かにし、学習課題に添って、行事の様子を俳句で表そうとしている。
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
夏の行事に関する言葉から俳句を作るを通して、日本の伝統的な行事や季節の移り変わりを感じ、語彙を豊かにし、感じたことを文章で表現することのよさを感じている児童。			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
夏の行事やそれに関わる言葉から俳句をつくらう。		身の回りには、日本の伝統的な行事や季節の移りわりを表す語彙があふれていることや、それらを使って俳句で表すことの魅力を感じ取ること。	
指導計画と評価計画(2時間取扱い 本時1/2)			
過程	時間	学習活動(「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
	1	○ 絵や写真を見たり、俳句や短歌を詠んだりして、夏の行事に関する言葉を広げる。	【態度】〈観察〉 ○ 絵や写真を見たり、俳句や短歌を詠もうとしたりしている。 ○ 絵や写真、俳句や短歌から、夏に関する言葉に興味をもっている。 ★【知・技】〈ワークシート・発言〉 ○ 絵や写真、俳句や短歌から、夏に関する言葉について理解している。 ○ 絵や写真、俳句や短歌と自分の経験を重ね、さらに思い浮かぶ言葉を書くことができる。
	2	○ 夏の行事に関する言葉から、俳句を作る。 ○ 作った俳句を読み合い、夏の行事の様子がどのように表現されているかについて交流する。	【態度】〈観察〉 ○ 夏の行事に関する言葉から、俳句に表したい事柄を選んでいる。 ○ 俳句に書き表そうとしている。 ★【思・判・表】〈ワークシート・発言〉 ○ 夏の風景や様子などを表した俳句を作ることができる。 ○ 友達に自分の作品を紹介することができる。 ○ 自分や友だちの作品のよさに気付いている。

※ICTの効果的な活用について

- 児童には、漢字を読んだり書いたりすることに苦手意識が見られるため、授業の導入でフラッシュ教材を使用し、継続して漢字の読み方の練習に取り組む。
- 児童は、語彙の獲得に課題が見られるため、スライド教材を提示し、児童が「夏」に関する経験を適切な言葉で表現できるようにする。

※特別支援教育の視点から

- 集中の持続が困難な児童が見られるため、ホワイトボードに、学習の見通しや経過が分かるよう示す。
- 児童は、書くことへの抵抗感が見られるため、児童用タブレットパソコンで、スライド教材が見られるようにしたり、個別に口頭でやり取りしたりすることで、書くことを明確にし、児童が自信をもって書けるよう支援する。

2 本時の学習

(1) 目標

夏の行事に興味をもち、それに関する言葉を集めることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
あ	15分	1 漢字の読み方の練習をする。 2 学習の見通しをもつ。 ① 学習の流れを確認する。 ②「春の楽しみ」の学習を振り返る。 ◇ひな祭り、桜、ふるさと愛鏡祭 ③本時のめあてを確認する。 ◇もうすぐ夏休みです。 ◇キャンプ、映画に行きます。	○ 漢字の読み方を定着させるために、フラッシュ教材を使って練習する。 ○ 読み間違いが見られた時には、正しい読み方を復唱させ、覚え間違いの改善につなげる。 ○ ホワイトボードに本時の学習の流れ(学習後のお楽しみも含む)を示し、児童が意欲や集中力を維持できるようにする。 ○ スライド教材を提示し、前回の学習内容を思い出させ、本単元の見通しがもてるようにする。 ○ 「夏」というフラッシュカードのみを提示し、夏に関する自分の知識や経験に関心がもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【めあて】 夏の楽しみを集めて、お気に入りの言葉を決めよう </div>			
り さ	25分	3 めあての達成に向けて取り組む。 ① 絵や写真、俳句や短歌から、夏の行事に関係する言葉に着目する。 ◇ころもがえ、ほたる、夏祭り、七夕、たんざく、天の川、盆踊りなど ② ①や自分の経験から、さらに言葉を考えて、ワークシートに書き込む。 ◇暑い、せみ、カブトムシ ◇かき氷、そうめん ◇オリンピック、夏休み、祭り、キャンプ ③ 考えたことを発表し、共有する。 ◇○○という言葉は思いつかなかった。 <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> 【期待される学びの姿】 ● 夏に関する言葉を集めることを通して、 ● 伝統的な行事や自然の移り変わりを ● 感じ、語彙を豊かにしている。 </div>	○教科書の絵や写真、俳句や短歌をテレビで提示し、一つずつ確認していくことで、夏に関係する言葉が理解できるようにする。 ○スライド教材を使って、「生き物」「植物」「食べ物」「夏を表す音」「夏の行事」などのヒントを伝え、児童が自分の経験と言葉を一致させ、書き表すことができるようにする。 ○全体に提示したスライド教材を、児童用タブレットパソコンでも見られるようにすることで、児童がより多くの言葉に気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【具体的評価規準】知・技 ○絵や写真、俳句や短歌から、夏に関する言葉について理解している。 ○絵や写真、俳句や短歌と自分の経験を重ね、さらに思い浮かぶ言葉を書くことができる。 (方法:ワークシート・発言) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【到達していない児童への手立て】 ○書こうとしていることを口頭で尋ね、書き方を示したり、励ましたりしながらワークシートに書くことができるようにする。 </div>
こ	5分	3 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> 【まとめ】 私の・僕の夏のお気に入りの言葉は○○○です </div> ◇俳句を作るときは、○○○という言葉を使いたいな。	○次の時間は、今日の学習で集めた言葉から俳句を作ることを知らせる。